



毎日のお仕事お疲れ様です。

1/14～17 豪雪により果樹類の枝折れ・棚施設の倒壊等が発生しました。被害に見舞われた部会員の皆様にお見舞い申し上げます。さて、下記により南水剪定講習会を計画しました。今回は、結果枝の更新方法・花芽整理等の高品質生産に直接つながる技術を中心に研修していきます。ベテラン・若手・女性多くの皆様のご参加をお願いします。現状では残雪が多い状況ですが、2 月の高温もあり、生育が思いのほか進む可能性もあります。足元が大変悪いなかですが、早めの意識の中で作業を進めてください。併せて、花芽は念入りに実施してください！

1. 南水整枝剪定講習会開催要項

開催日時	集合場所	開催園地
2 月 17 日（金）午後 1 時 30 分	長印中野駐車場	高橋真一郎様園

◆ 内容

- ① 南水の整枝・剪定のポイント
- ② 結果枝の更新方法
- ③ 良い結果枝の作り方
- ④ 芽すぐり（花芽整理）のポイント
- ⑤ 質疑応答

参考：芽すぐり（花芽整理）のポイント

- ① 1短果枝当り1～2芽を残す。結果枝（側枝）の片側15cm間隔（剪定ハサミ1つ分位）で、横向きか斜め上向きの短果枝群を残し、上芽と下芽は基本的に切除する。
- ② ショウガ芽（短果枝群）を整理して貯蔵養分の消耗を防ぐ。通常はハサミで位置の悪い短果枝を中心に切除するが、葉枚数の確保を含めて、手で花芽を欠いてもよい。
- ③ 上向きの短果枝は日焼け果・収穫前落果の原因になるので切除する。
- ④ 基の花芽に切り戻さず、果台を積み上げ、外に開いたように整理する。（花芽の間隔が広くなり、受粉や袋掛けの作業が楽になる）
- ⑤ 横向き、斜め上向き花芽を中心に最終的に着果させたい方向の花芽を残す。多少果台が細く、花芽もやや貧弱でも構いません。
- ⑥ 剪定と並行して実施する。樹 1 本、枝 1 本終わったら、芽すぐりを必ず実施する。

